



Vol.250

令和4年2月15日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

令和3年第4回定例会を 開催しました

12月6日

- 柏村 忠志 ○矢口 勝雄
- 奥谷 崇 ○吉田千鶴子
- 久松 猛

12月7日

- 目黒 英一 ○平石 勝司
- 篠塚 昌毅 ○鈴木 一彦

12月8日

- 塚原 圭二

一般質問

10名の議員が3日間にわたり、一般質問を行いました。

令和3年第4回定例会は、11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催し、土浦市手数料条例の一部改正や、子育て世帯への臨時特別給付金に係る事業費及び事務費補助金を計上するための令和3年度土浦市一般会計補正予算(第11回)など、市長から提出された議案等の審議を行い、原案どおり可決、承認しました。また、委員会から提出された委員会提出議案1件について、原案どおり可決しました。

目次

- 表紙 1
- 令和3年第4回定例会の結果 2
- 一般質問
 - 柏村忠志・矢口勝雄・奥谷崇 3
 - 吉田千鶴子・久松猛・目黒英一・平石勝司 4
 - 篠塚昌毅・鈴木一彦・塚原圭二 5
- 【特集】会派の主張 私たちはこの方針で活動します
 - 郁政クラブ 6
 - 公明党土浦市議団 6
 - 政新会 6
 - 新風会 7
 - 日本共産党土浦市議団 7
 - 市民ネット21 7
- 令和4年第1回定例会(3月)の日程 8
- 編集後記 8

<インターネットで市議会の模様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

○土浦市立図書館 ○各中学校区の地区公民館
○支所・出張所(都和・南・上大津・新治・神立)
※最新となる会議録(令和3年第4回)は、2月下旬に閲覧可能となります。



令和3年第4回土浦市議会定例会を開催しました



11月30日から12月17日までの18日間の会期で開催した令和3年第4回定例会では、条例の一部改正についてや、一般会計・特別会計の補正予算、また、指定管理者の指定についてなど、市長から提出された議案等の審議を行い、原案どおり可決、承認しました。また、委員会から提出された議案1件について、原案どおり可決しました。

**条例に関する
議案等全議案を
原案可決**

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果	議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	3.11.30	3.11.30	原案可決	議案第68号	令和3年度土浦市下水道事業会計補正予算(第1回)	3.11.30	3.12.17	原案可決
報告第46号	専決処分の承認について(和解について)	3.11.30	3.11.30	承認	議案第69号	令和3年度土浦市水道事業会計補正予算(第1回)	3.11.30	3.12.17	原案可決
議案第60号	土浦市手数料条例の一部改正について	3.11.30	3.12.17	原案可決	議案第70号	土浦市亀城プラザの指定管理者の指定について	3.11.30	3.12.17	原案可決
議案第61号	土浦市国民健康保険条例の一部改正について	3.11.30	3.12.17	原案可決	議案第71号	土浦市宮斎場の指定管理者の指定について	3.11.30	3.12.17	原案可決
議案第62号	土浦市市街化調整区域に係る開発行為等の許可基準に関する条例の一部改正について	3.11.30	3.12.17	原案可決	議案第72号	土浦市立土浦市民会館の指定管理者の指定について	3.11.30	3.12.17	原案可決
議案第63号	土浦市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	3.11.30	3.12.17	原案可決	議案第73号	公の施設の区域外設置に関する協議について	3.11.30	3.12.17	原案可決
議案第64号	令和3年度土浦市一般会計補正予算(第10回)	3.11.30	3.12.17	原案可決	議案第74号	令和3年度土浦市一般会計補正予算(第11回)	3.12.8	3.12.8	原案可決
議案第65号	令和3年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	3.11.30	3.12.17	原案可決	委員会提出議案第8号	中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査を求める意見書について	3.12.17	3.12.17	原案可決
議案第66号	令和3年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	3.11.30	3.12.17	原案可決		閉会中の事務調査について	3.12.17	3.12.17	原案可決
議案第67号	令和3年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第3回)	3.11.30	3.12.17	原案可決					

電子採決の結果 反対のあった議案は、電子採決により、採決を行います。本定例会では、下記の議案について反対があったため、電子採決を行いました。

議案等名	議員番号	議員名																								賛成	反対	採決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
受理番号4 茨城県地域防災計画(原子力災害対策計画編)にコロナ等の感染症対策を取り入れることについて茨城県知事へ意見書を提出することを求める請願の不採択について		目黒英一	平石勝司	吉田千鶴子	福田一夫	田子優奈	久松猛	奥谷崇	矢口勝雄	勝田達也	塚原圭一	島岡宏明	今野貴子	下村壽郎	鈴木一彦	小坂博	篠塚昌毅	柴原伊一郎	海老原一郎	柳澤明	矢口清	吉田博史	寺内充	柏村忠志	内田卓男	21	1	可決
受理番号5 第6次エネルギー基本計画の改定に向けて、国へ意見書提出を求める請願書の不採択について		目黒英一	平石勝司	吉田千鶴子	福田一夫	田子優奈	久松猛	奥谷崇	矢口勝雄	勝田達也	塚原圭一	島岡宏明	今野貴子	下村壽郎	鈴木一彦	小坂博	篠塚昌毅	柴原伊一郎	海老原一郎	柳澤明	矢口清	吉田博史	寺内充	柏村忠志	内田卓男	21	1	可決

※賛成…○ 反対…× ※賛否が分かれた案件のみを掲載。 ※議長(小坂 博)は、採決に加わらない。田子優奈議員は、欠席。

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
4	茨城県地域防災計画(原子力災害対策計画編)にコロナ等の感染症対策を取り入れることについて茨城県知事へ意見書を提出することを求める請願	3.6.1	3.12.17	不採択
5	第6次エネルギー基本計画の改定に向けて、国へ意見書提出を求める請願書	3.6.1	3.12.17	不採択

今定例会では、請願2件の審査を行い、いずれも不採択となりました。

請願・陳情の結果

一般質問



柏村 忠志
〈一問一答〉

Q 第8次土浦市総合計画による穴塚大池周辺地区の整備状況及び整備事業の中止について伺います。

A

〔船沢都市政策部長〕

大池周辺地区については保全と開発を共に位置付けており、第8次総合計画においても研究業務機能の誘致を図り、自然などの周辺環境を活かした新たな産業拠点の形成を目指すと共に自然と触れ合える空間としての機能充実を図ると、両論での方針を示しています。

本地区においては、地権者や関係団体とも協議を重ね、散策路の整備、案内板、仮設トイレの設置、先行取得用地の定期的な除草作業などの環境整備を進めてまいりました。

一方、穴塚大池周辺地区、開発面積約147ヘクタールの区域内には個人所有の土地が大半を占めており、土地利用については地権者の皆様のご理解を得ることが必要不可欠となります。

周辺環境の変化による地区のポテンシャルの高まりも見据えて、地権者協議会と協議をしながら、借地方式も踏まえ、取得した土地の有効活用策等について調査研究してまいります。

Q

〔再質問〕

穴塚大池周辺地区は、自然が豊かで、非常に人々を呼ぶ。完備すれば、県南でも引けの取らない公園になるだろうと思っておりますが、仮称穴塚古墳自然公園の建設をするか否かの見解を求めます。

A

〔安藤市長〕

穴塚大池周辺は、水辺空間、その周辺に広がる谷津田、樹林などの緑豊かな昔からの自然環境が保全されています。

そして今現在、市民参加型の自然観察会の実施や小中学生による里山体験、保育園児の野外散策などにも活用されており、この地区の里山としての自然環境は、土浦市の宝であると思っております。

一方で、大池周辺の丘陵部と幹線道路沿線の平野部、それぞれの特性を踏まえて、今後は中長期的な視野に立ち、周辺環境の変化のあるこの地区の持っている可能性を見据えて、自然と調和した土地利用を検討していきたいと思っております。

〔その他の質問〕

○穴塚大池（穴塚勢師久保729）の灌漑（かんがい）用水について

○土浦市内の放置竹林について

CSN

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、一部の要旨を掲載しています。今定例会では、一括質問・一括答弁方式を選択した議員が7名、一問一答方式を選択した議員は3名でした。



矢口 勝雄
〈一括質問〉

投票率向上を図るための施策について

① 投票率向上の手立てとして高校での期日前投票所の設置が全国各地でありました。本市でも実施したところか。

② 一人では投票所まで行かない高齢者への対策として、移動投票所を試みてはどうか。

A

〔羽生総務部長〕

① 今回の衆院選において、県内では日立市と稲敷市が市内の高校に移動式の期日前投票所を設置しております。

日立市の事例では、日立市内の県立及び私立高校の計8校を、3日間に分けてワンボックス車で巡回しています。駐車場や中庭を会場に、昼休みと放課後を利用して開設し、車外のテントで受付や名簿対照、投票用紙交付、投票用紙への記載を行い、車内の投票箱に投函する方式により、生徒や教職員が期日前投票を行いました。なお、開設準備に約40分、撤収に約30分を要し、更に二重投票を回避するための選挙人名簿対照オンラインシステムにつきましては、通常の期日前投票所では処理速度やセキュリティの観点から、有線で行っておりませんが、移

動投票所という点で無線で対応したため、受付処理に通常よりも多くの時間を要したとのこと。そうした状況で行われました今回の日立市の移動投票所の実績は、高校8校における市内在住で18歳以上の有権者数641人に対しまして、投票者が123人で、投票率は19.19パーセントとなっております。

投票した生徒は、「自分の一票が日本の未来を変えるかもしれない」「授業で政党や議員について調べ、深く学べ、選挙に活かせて良かった」「学校で投票の経験ができたので今後も投票していきたい」などの感想を述べていて、若い世代と政治の距離を縮めるための工夫に、一定の効果があったようです。

こうした主権者教育につながる取組は、若年層への効果のみならず全体への波及効果も見込まれることから、本市におきましても日立市などの先進事例を研究検討してまいりたいと考えております。

② 過疎や高齢化に伴う支援策という側面だけではなく、投票区再編に伴う投票環境の確保という面からも、代替措置としての移動投票所は、有効な手段であると考えられます。



〔その他の質問〕

○日本庁舎跡地活用に

CSN



奥谷 崇
〈一括質問〉

Q

〔救急搬送の現状について〕

消防職員の内、救急隊員の人員状況について、男女比を含めた現在の状況及び今後の増員計画について伺います。

A

〔鈴木消防長〕

現在3名の女性職員が勤務しております。来年度の予定で女性職員が4名となることにより、女性の割合は2.2パーセントとなりますが、土浦市役所女性職員活躍推進プラン後期計画におきまして、消防職に対する女性職員の割合を5パーセント以上とするという重点目標が示されていることから、引き続き目標達成に向け取り組んでまいりたいと考えております。

Q

〔再質問〕

市内各消防署における女性受入れのための改修工事、老朽化対策を含めた今後の改修計画等について市長の考えを伺います。

A

〔安藤市長〕

女性活躍推進につきましては、重点目標として進めており、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づきまして、一人ひとりの職員が性別や様々な事情に関わりなく働きやすい職場であるべきことから、職場環境を整備するため令和3年3月に土浦市役所女性職員活躍推進プランと新土浦市役所子育て支援プラン後期計画を策定し、推進してまいります。

その中において消防職についても、令和7年度までを目標に消防職の受給生に占める女性の割合を5パーセント以上にすると、また、消防職においては職員に対する女性の割合を5パーセント以上にすると2つの重点目標を掲げ取り組んでおります。

議員ご質問の女性受入れのための改修工事、老朽化対策を含めた今後の改修計画につきましては、現在、消防本部庁舎及び土浦消防署は、女性専用施設が全て整っていますが、その他の消防署におきましては、トイレ、シャワールーム、仮眠室等の施設が整っていない状況です。

女性職員の採用、配属計画に基づきまして、施設の改修や建て替え時に施設整備を検討してまいりたいと考えております。

今後においても、女性の力を最大限に活用して組織の活性化を推進することが、重要な課題と考えておりますので、女性消防職員のさらなる活躍に向け、女性が生き生きと職務に従事できる職場環境の整備に努めてまいります。



〔その他の質問〕

○救急搬送活動の生産性向上に向けたICTの導入について

○電動化技術の導入について

○事故・災害時等のドローンの活用について

CSN



吉田 千鶴子
〈二括質問〉

子宮頸がん・HPVワクチンについて

①土浦市の定期接種対象の全学年への郵送通知前後の接種状況等について伺う。

②勧奨中止の間、接種を逃した方（キャッチアップ）への救済措置が実施されたときの郵送通知の実施について伺う。

塚本保健福祉部長

①本市では過去3回にわたる厚生労働省作成のリーフレットを同封し、個別通知を発送しております。通知後の接種者は増加し、令和元年度の1回目の接種者は8名だったところ、令和3年度10月までで1回目接種の方が180名となっております。

②勧奨を中止していた期間において、接種を逃した方への救済措置、いわゆるキャッチアップ接種への対応につきましては、実施する方向性は示されたものの、対象者の範囲やキャッチアップの実施期間は未定のため、決まり次第対象者の把握や対象者及び保護者への周知をし、広く市民の皆様と情報共有を図るため、市ホームページや広報紙などを通じて、周知をしていきたいと考えています。

ページや広報紙などを通じて、周知をしていきたいと考えています。

再質問

今回国の方針が大きく変わり、積極的な勧奨を進めるということになりましたことから、改めて安藤市長の御見解をお伺いします。

安藤市長

国では、接種対象者への勧奨再開に向けて厚生労働省の専門部会が確認したとのことですが、これからは定期接種者に加えて、キャッチアップ接種者も接種対象者となることを見込まれるため、より一層きめ細やかな情報提供が求められます。今後は、国や県の動きに呼応し、医療機関との連携を取りながら、しっかりと対応してまいりたいと思っております。また、ワクチンばかりでなく、子宮頸がん検診の受診も丁寧に周知させていただき、疾病が発見された場合には、適切な治療へと導き、女性の命を守っていききたいと思っております。

その他の質問

○国政選挙等の投票等について
○本の通帳サービスの拡充について



久松 猛
〈一問一答〉

第二期土浦市地球温暖化防止行動計画について

①温室効果ガス総排出量2030年度までに2013年度比18%削減はCOP26決定「グラスゴー気候合意」の目標に照準を合わせるか。

②「行動計画」の見直しが必要ではないか。

塚本市民生活部長

①COP26グラスゴー気候合意は、気温の上昇幅を1.5度以内に抑える努力を決意するなどを採択したもので、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では2030年までに2010年比で二酸化炭素

素の実質排出量を約45%削減することが必要とされており、本市においては、市民・事業者と協働・連携し、太陽光発電設備と連携した蓄電システムの設置補助や環境問題などに取り組む「エコパートナー」事業など、温室効果ガス排出量の削減に取り組む、更なる削減を目指しています。

②国や県の動向を注視することも、計画の進捗管理を行うため、土浦市環境計画進捗管理委員会の意見をいただいた上で、土浦市環境審議会に諮り進めたいと考えています。

再質問

①IPCCの目標に合わせるためには土浦市の目標も引き上げていかなければならないのではないかと。
②全国にはゼロカーボンシティの宣言自治体が100以上あるが、本市ではどうか。



目黒 英一
〈一括質問〉

ヤングケアラーの周知と支援について

①教職員を含めた教育現場でヤングケアラーを正しく理解するための取り組みについてお伺いします。

②市民へヤングケアラーを正しく周知するための取り組みについてお伺いします。

③土浦市のヤングケアラー支援策の取り組みについてお伺い致します。

④きょうだいで兄を正しく理解する取り組みについてお伺いします。
※ヤングケアラー…大人が担うべき家

③ゼロカーボン、地球温暖化対策について、市民総ぐるみで取り組んでいくというふうな市民への訴えが必要なのではないかと。

塚本市民生活部長

①国や県の動向を注視しながら進捗管理委員会の中で協議し、進めていきたいと考えています。

②本市におきましては、令和2年に宣言しております。

③全地球的な問題であり、市民の生活にとっても非常に影響のあるものですので、対策としてごみの減量化なども一つの対策になってきますので、本当に身近な問題として取り組んでいただければ、今後周知を図ってまいります。

その他の質問

○常盤運動公園用地について

事や家族の介護、身の回りの世話などを行っている18歳未満の子供の総称
※きょうだいで兄…病気や障害のある兄弟姉妹をもち子供

入野教育長

①教職員に対しては、研修を十分に行い、日頃から子供たちの観察をしっかりと行うとともに、定期的なアンケートや面談を実施しながら児童生徒の家庭環境や生活状況について、早期の実態把握に努めてまいります。児童生徒に対しては、例えば総合的な学習の時間などにおいて動画による同世代の体験談などの視聴をすることにより、ヤングケアラーについて正しく理解をさせるなど、誰もがヤングケアラーになる可能性があるという意識を持つような指導をしてまいります。

②市民に対し、国がヤングケアラーという言葉の認知度を高めるために作



平石 勝司
〈一括質問〉

第9次土浦市総合計画案について

現在、策定中の第9次土浦市総合計画について、今後どのような土浦の未来を指しているのか、安藤市長のお考えをお聞かせください。

本市における医療的ケア児の支援について

①本年6月、医療的ケア児支援法が成立し、居住地に関係なく、等しく適切な支援をすることを国や自治体の責務であると明記してあります。本市の医療的ケア児への支援の現状について、お伺いします。

②支援法では、保育所や学校へ看護師を配置するように明記され、適切な支援のもとで教育が保障されるようになり、今後の本市の取り組みについて、お伺いします。

※医療的ケア児：日常生活や社会生活を営むために、気管切開部や人工呼吸器の管理、喀痰吸引などに代表

安藤市長

第9次土浦市総合計画案につきまして、子供が夢と希望を持ち生き生きと育つまちづくり「未来につなげる地域の宝を生かしたまちづくり」暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり「安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり」の4つのリーディングプロジェクトを定め、まちづくりを進めていきたいと考えております。

愛する土浦を「夢のある、元気のある土浦」に変えていくため、市民の皆様と一緒に前進してまいりたいと存じます。

塚本保健福祉部長

①令和元年度から医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児とその御家族からの相談や関係機関からの連携などに応じております。

②医療的ケア児に対する教育を保障するために、医療的ケア児が在籍する学校に対する環境整備をするとともに、児童生徒、その保護者に寄り添った支援に努めてまいります。

その他の質問

○NPO法人のインクルーシブ公園化について
○移住支援の取り組みについて



篠塚昌毅
〈一括質問〉

Q 自転車を活用した観光事業の推進について
①昨年度策定した「土浦市自転車のまちづくり構想」の進捗状況と今後の課題についてお伺いします。

②本市区内のつくば霞ヶ浦りんりんロードの安全対策と、周辺道路の安全対策についてお伺いします。

③レンタサイクル利用者の現状と課題についてお伺いします。

④「霞ヶ浦サイクルース」「ライドアフوندリー SouthSidePark」等の実施した観光事業の成果と今後の実施計画についてお伺いします。

⑤本市の見どころ施設にサイクリストを誘導するための導線とスマートフォンを活用した観光案内についてお伺いします。

A

〔川村市長公室長〕
①土浦市自転車のまちづくりの構想では、分野ごとに目標を掲げて、それぞれ達成状況を確認するための指標を設定しており、概ね達成している状況です。この構想は、各指標の進捗状況や新型コロナウイルスの感染状況なども踏まえて、来年度見直しを行う予定です。

②

〔岡田建設部長〕
霞ヶ浦りんりんロードの安全対策として、滑りやすい路面の改修や自転車専用の通行空間の確保など、道路環境整備を進めています。

す。霞ヶ浦護岸の自転車道の整備促進については、引き続き茨城県に強く要望を行うとともに、安全対策を推進したいと考えております。

〔佐藤産業経済部長〕

③令和2年度、令和3年度のレンタサイクルの利用者は、新型コロナウイルスの影響により減少しましたが、それまでは年々利用者が増加していました。また、利用が集中する時期の駐車場が満車になるなどの課題があります。

④観光サイクリング事業は、コロナ禍の中でも大変好評をいただきました。12月には全日本選手権シクロクロスを開催します。

⑤初めて本市へお越しただく方も、迷うことなく安心して走行できるコースや観光スポットをご案内するためには、スマートフォンアプリなどの活用は欠かせないものと考えます。

Q

再質問

しまなみ海道、琵琶湖サイクリングナビのようにコースを冠したアプリの開発を検討してはどうか、レンタサイクルの装備品としてスマートフォンのホルダー、充電器を装着するようなものも検討してはどうか伺います。

A

〔佐藤産業経済部長〕

周辺自治体と連携を図りながら、本地域の実情に合わせたアプリの開発などに向けて、調査研究を行ってまいります。レンタルサイクルの装備は、安全性に十分配慮し、ニーズを踏まえながら導入の検討を働きかけてまいります。

その他の質問

歴史文化を活用したまちづくりについて



鈴木一彦
〈一問一答〉

Q 小町の館周辺の更なる充実について
市内にある県・市指定文化財建造物を小町の館周辺に移築し、大内宿のような観光地をつくらせてはどうか。

A

〔望月教育部長〕

現在、市内にある文化財等建造物は、国指定1件、県指定3件、市指定が15件で、そのほか国登録有形文化財建造物が18件あります。例えば市内に幾つか農家建築の建造物がありますが、前野家住宅、富岡家住宅については県指定、高野家住宅については市指定、岩瀬家住宅は国登録文化財となります。指定文化財と登録文化財の違いについては、指定文化財は指定による保護保存を第一義としていますが、登録文化財は価値を損なわない一定の改修を認め、所有者・管理者が活用しながら保存するという緩やかな規制を通じて保存と活用が促されています。

Q

再質問

移築にあたっての課題について伺います。

A

〔望月教育部長〕

移築については、所有者のご理解を得るといったことはもちろんのこと、文化財の価値を減らすことがないようにする必要があります。そうしたことから、移築についての可否をはじめ、移築する場合の具体的な方法などについては、国登録文化財については国の文化審議会に、県指定、市

指定文化財は、各々の文化財保護審議会において審議が必要になります。

再質問

小町の館周辺の観光地化を図り、一層の集客を目指すため、まずは小町の館に隣接する土地などを整備活用し、施設機能の更なる充実を図ってはどうか伺います。

A

〔佐藤産業経済部長〕

本年度は、地元事業者の協力の下、キッチンカーや個性的な雑貨、産直野菜販売などを出店する小町マルシェを開催するとともに、新治地区をめぐるジオパーク認定ジオガイドによるハイキング、それから里山をめぐるサイクリングツアーなどを新たに企画し、多くの方にお越しいただいています。小町の館周辺のさらなるにぎわいに結びつくよう、今後小町の館周辺の自然豊かな環境を保つことを第一に、さらなる施設機能の拡充を検討してまいります。



その他の質問

市政運営の基本方針について



塚原圭二
〈一括質問〉

Q 土浦市コミュニティバス「中村南、西根南」地区線について
①運行を始めて1か月が経過しましたが、1か月の利用人数と1台あたりの平均乗車数を伺います。

②市民の皆様からの意見及び今後の更なる広報活動をどう行っていくのか伺います。

③今後の他地区への展開と時期は。

A

〔船沢都市政策部長〕

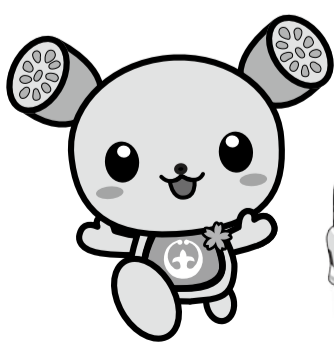
①運行を開始しました10月20日から11月19日までの1か月での利用者数は、テレビ、新聞に取り上げられた効果もあり、延べ806人、1便あたり定員8人に対して2・6人の利用で、イオンモール土浦、荒川沖駅、霞ヶ浦医療センターが多く利用のある停留所となっております。

②つちまるバスを運行するにあたり、本市では、中村南・西根南地区の地区長の皆様を中心に組織されている地元意見交換会を設立し、協議を行い導入しました。また、運行事業者が狭い道路を運行する際、細心の注意を払い、安心・安全な運転を心掛けていただいていることから、運行に関するご意見はほとんどない状況です。

③令和4年度、公共交通網形成計画の位置付けや、地域の特性、アンケート調査の結果に基づき、右本地区での導入を検討しております。

現在、地元アンケートの内容や現地踏査、課題の抽出を行っており、準備ができ次第、地区長の皆様との懇談、そして、地元意見交換会の設立に向け検討しております。

導入時期につきましては、令和4年10月を目標としています。つちまるバスにつきましては、地域コミュニティを支える重要な交通手段であることから、住民の皆様には、より多くのご利用をお願いすることにも、事業者はさらなる安心・安全な運行及びサービスの提供、行政はより利用しやすい環境の整備など、地域、事業者、行政それぞれが役割を担い、連携を強化することで、持続可能な公共交通網の実現を図ってまいります。



その他の質問

公園整備について

つくば霞ヶ浦りんりんロードについて

活動します」

会派とは、議会で政治上の政策・主義・目的などを共有する議員が集まった団体のことです。

※内容は、各会派から提出されたものを原文のままで掲載しております。表示順は会派に所属する議員数の降順で、会派に所属する議員は、会派代表者、期数の降順、年齢の降順で、丸数字は期数を表しています。

郁政クラブ

- ⑧ 男毅郎 ② 卓昌 ④ 壽圭 ② 雄二
- ⑤ 田塚村原 ④ 内藤下塚口 ② 矢口老坂岡田谷 ① 清一郎 ④ 博明 ② 也 ① 宏達

郁政クラブは、11名の議員による会派で、市議会の最大会派です。11名の議員が市内の各地で現場を歩いて市民の皆様の声をお聞きしております。

令和4年の会派の活動方針を検討するにあたり、土浦市の発展と市民の安心安全な生活を図る上で、優先すべき課題、重要な課題を様々な角度から会派内で議論しました。その結果、事業課題を市の各部の管轄ごとに大きく10点に分類し活動方針としました。各項目別の内容は以下に掲載しました。

国・茨城県に対しては、乙戸川上流部の河川改修、常磐自動車道スマートICの設置（飯田・矢作地区、つくばエクスプレスの土浦延伸、国道6号土浦・牛久バイパス未開通部分の早期開通）をおおつ野付近の国道354号線道路の道路白線の補修、県道土浦・坂東線の上高津地区通学路歩道整備など早期の実現に向けた要望活動をするを、市に提案してまいります。

1 市長公室
サイクリングの街土浦市をPRするため、2021年開催された全日本自転車競技選手権シクロクロスなどのサイクリング競技大会の積極的誘致。
2 総務部
防災アプリの導入。
激甚化する自然災害への備えの構築。
各地区の避難計画の構築と訓練の実施。
2050年のカーボンニュートラルを目指すため、公用車を計画的に電気自動車に変更。
原付一種のデザインナンバープレートの実施。
3 市民生活部
市民協働のまちづくりを推進

4 保健福祉部
コロナの影響による生活困窮者への支援。
PCR検査体制の強化と感染予防の徹底、ならびに情報収集発信体制の整備。
コロナワクチン3回目接種に向けての体制構築。
子宮頸がんワクチン接種についての知識の啓蒙促進と接種率向上。
子ども食堂への支援。
5 とも未来部
放課後児童クラブの環境の整備。
少子化対策への様々な施策の検討と実施。
6 産業経済部
養育里親への支援。
市内全域の公共交通網の再構築。
耕作放棄農地の日本人・日本資本による適正利用推進。
7 都市政策部
土浦地方市場の調整池の水位を調整するポンプ設置等。
乙戸沼公園内遊具更新又は修繕と乙戸沼公園駐車場の整備。
JR神立駅へのエスカレーター設置。

8 建設部
市道の白線表示の補修（国道、県道への要路を含む）。
新治地区市道の舗装路面の二斉点検と補修。
大雨に強い道路整備。
上下水道インフラの整備と、長寿化促進。
木田余神立線の整備促進による神立停車場線への早期の接続。
9 教育委員会
中学校地区公民館のエレベーター設置などの整備。
市立図書館での本の通帳対象者に一般も有料にて追加すること。
土浦第五中学校とおおつ野地区間の国道354線を横断する児童生徒の安全の確保のための自転車も通行できる歩道橋の設置。
荒川沖小学校野外トイレの改修工事。
荒川沖西一丁目地内を流れる都市下水路に蓋をして通学路にする計画推進。
10 消防
各消防署、分署における職場環境の整備。
市民対象の救命救急講習会を実施。
市内11か所の火の見櫓の撤去に対する補助金制度の設立。

公明党 土浦市議団

- ⑦ 福田 一夫 ① 吉田千鶴子 ⑤ 平石 勝司 ③ 目黒 英一

現在、全世界における新型コロナウイルス感染症拡大という事態は、日常生活や社会経済活動に大きな変化を及ぼし、市民生活も大きな影響を受けております。また進展する少子高齢化や人口減少により社会構造が急激に変化しており、安心して暮らすことのできるまちづくりがますます求められています。

そこで今何より重要なことは、感染症の脅威から市民の命と健康、そして生活を守り抜くこと、最優先の課題として取り組み、毎年のように相次ぐ自然災害が激甚化するなかあらゆるリスクに対して強靱で持続可能な社会の構築こそ必要であると考えます。そのためには、世界的な地球温暖化という課題に対し、ゼロカーボンシティ宣言都市として、市民一人ひとりの自主的な意識改革と行動変容を促すため、環境教育の推進と市民総ぐるみの取り組みを図り、脱炭素のライフスタイルへの転換が必須です。また、今後一層進展するデジタル化という大きな変化のなかで、市民がより質の高い生活を享受し、新しい時代にふさわしい行政サービスの提供がされる、誰一人取り残さないデジタル行政の構築が望まれます。幸いにも本市には霞ヶ浦をはじめとする豊かな自然、れんこんをはじめとする多くの農産物、歴史的景観を残す街並みなど財産が数多くあります。また、ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を中心とする自転車によるまちおこしも軌道に乗ってまいりました。これら9次土浦市総合計画のスタート

の年度に際し、SDGsの基本理念である「誰ひとり取り残さない」のもと、持続可能な社会の実現を目指し効果的な施策を迅速に実行できるよう市に提案してまいります。

1 ゼロカーボンシティ宣言都市として、第2期土浦市地球温暖化防止行動計画に基づき市民、事業者、行政が協議・連携の下、脱炭素に取り組み、市民一人ひとりのさらなる自主的な意識改革・行動変容の促進を図るべく、仮称「新・土浦市地球温暖化防止展」の開催を図ること。
2 デジタル行政を推進し、Social City 5.0時代にあふさわしい市民のための行政サービスの質の向上に取り組みむこと。マイナンバーを活用し情報の縦割りを解消し、市民一人ひとりに向き合い、寄り添う電子市役所の実現を目指し取り組むこと。
3 誰一人取り残さないデジタル社会へ向け、高齢者や障がい者をサポートするデジタル活用支援員を配置し活用を図ること。
4 デジタル化に伴い、「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」に掲げられている「女性のデジタル人材の育成支援」を図ること。（含・女性の採用）
5 「自転車のまち土浦」を全国にPRし、自転車レース、イベントの開催へ継続的に取り組むこと。サイクルツーリズムを推進し、地域資源の掘り起こしや開発を図り、インスタ映えするスポットなどの整備を促進すること。
6 奨学金返還支援制度を創出すること。
7 小町の館・東城寺周辺の地域資源を活用した新たな観光振興・にぎわい創出に向けて、調査研究に取り組むこと。
8 運転免許証を自主返納した高齢者へ電動アシスト付き3輪自転車の助成制度の導入を図ること。
9 ランドセルのカラーバリエーションを増やすこと。ほか10部局99項目の推進を市に提案してまいります。

政新会

- ⑥ 寺内 充 ⑥ 吉田 博史 ② 今野 貴子

お祝いなどの施策は、執行部と話し合いながら実現しました。また安藤市長の公約であったゴミ袋の値下げも、執行部と話し合い、連携を取りながら実現につなげました。令和4年度も引き続き主要道路の整備促進や中央市街地活性化など推進するよう働きかけてまいります。そして市政運営のために一番重要と思える「土浦の政策や施策の情報を全市民の皆さまに届ける」という項目も付け加えました。市の情報を皆さまと共有してこそ、市の健全な発展に繋がると信じて推進してまいります。

ようやくコロナが落ち着き、取東の兆しが訪れたように思えた矢先、オミクロン株による猛烈な勢いで感染が広がっています。私たちの未来はコロナだけではなく、少子高齢化、脱炭素社会に向けた取り組み、日進月歩で進んでいるAIなどの技術革新など、過去の中に見ないほどの社会変化の中にあります。正に産業革命の只中と云っていいでしょう。社会構造、生活形態が劇的に変化する中であっては、情報を素早く得て、素早く動くことが重要です。政新会はそれらの変化を見逃さず、未来に向けての具体的な施策を提言してまいります。コロナによって社会構造や事業構造の転換が一挙に前倒しになりました。都市一極集中から地方分散への推進も正にその一つです。テレワークはもはや一時的なものではなく、引き続き脱炭素社会に向けてはグリーンリカバリー（緑の復興）という考え方も重要になってきています。土浦は都心から1時間ほどの距離で、豊かな自然にも恵まれています。土浦は有利な条件が揃っています。これらを踏まえて政策を進めていくことが、土浦を明るい未来へと導いてくれます。正に今が正念場なのだという強い危機感を持たなければ、土浦は衰退してしまおうと思わなければいけません。

私たちが政新会は、これまで土浦にとって重要な施策を市に提言して参りましたが、これからは、新たな世界への展望を見据えた視点で土浦市政に提言して参ります。これまで提言してきた、公共交通空白地域対策（コミュニティバス）の運行、新治多目的グラウンドの人工芝生、米寿の



1 中央立田線・県道土浦港線と市道1級18号線・荒川沖木田余線の早期4車線化
2 市民要望の道路改良工事の早期着手
3 中心市街地活性化の為に課を創設
4 中央地区（土浦市有地を含む）の再開発と中央地区の歴史的資産の有効活用
5 乙戸市場の観光資源化（未利用床を活用した道の駅）
6 小町の里の開発（道路整備等）
7 小松坂下交差点の更なる安全対策（県への要望）
8 男女共同参画推進
9 街を花でいっぱいにする美化推進
10 必要な情報を必要な時に市民の皆様へ届ける為の情報化推進

特集

令和4年 会派の主張

「私たちはこの方針で 令和4年の各会派の活動方針を紹介いたします。」

新風会

○柳澤 明⑤ 柴原伊一郎④
鈴木 一彦④

コロナ禍からの脱出に向けて、光が見え始めた中、オミクロン株の出現により先行きに不透明感を感じたまま二度目の新年を迎えることとなりました。市民、事業者にとっても、コロナ禍前の生活リズムに戻れず、苦勞されていることと思います。各事業所(老)も工夫を凝らし、コロナ対策を行いながら経済活動の再開を試みている状況です。

2022年度の新風会の活動方針として、財政の健全化に気を配り、コロナ禍で「疲弊」している市民生活の負担の軽減や経済的支援に取り組みしていきます。

①「子育てする街、土浦市」として市民が土浦に住みたくなるような施策を提言していきます。認定こども園の設置、学童保育への民間活力の導入等、子育て世帯が働きやすく、安心して子育てができる環境づくりを提案していきます。

「活動方針」

②医療の充実
土浦には産科医療が不足しています。医師会との連携を図り出産のしやすいような体制の整備に取り組んでいきます。歯科については乳幼児、児童の虫歯予防、特にフッ化物洗口の推進に取り組んでいきます。

③市内の観光スポットであるラクスマリーナ、水郷公園、乙戸沼公園、小町の里等の案内看板や子どもたちが安心して遊べる遊具を充実させ、市内だけでなく市外から訪れる人たちがさらに利用しやすくなるように働きかけます。市内にある国、県、市指定文化財の有効活用を図り、また小町の里へ古民家を集約し、会津の大内宿のような観光地を作ること提案していきます。ラクスマリーナについては水上スポーツの拠点、サイクリングの拠点として宿泊を含めた観光の開発に取り組んでまいります。

④公共用地、公共施設の未利用地が増えていきます。様々な法律、条例の縛りがある公共用地跡地ですが、売却、利活用を含め幅広い視点で研究し、土浦市活性化の起爆剤として有効活用できるように提言していきます。

⑤コロナ経済対策で企業やそこで働く人、さらに自営業者に対しても負担軽減等を提言していきます。コロナ経済対策として考えられるのは、協賛金、補助金も重要ですが、どの部分で負担軽減できるか検討し、新年度に一つでも軽減できるように提案していきます。

⑥今年度は運行地域をさらに増やして、「免許証返納しても安心」の公共交通通ぎとしてがんばります。昨年12月に日本共産党市議団として、来年度予算編成に向けて、コミュニティバスの運行地域拡大、国保税の引き下げ、生活困窮高齢者世帯へのエアアシ設置をはじめとする約50項目の市民要望を市長に提出しました。



日本共産党 土浦市議団

○久松 猛⑩ 田子 優奈①

日本共産党土浦市議団、今年も頑張ります。

新型コロナウイルスの感染は年が明けても衰えを見せていません。PCR検査の無料実施をはじめ手洗いやマスクの着用、部屋の換気など基本的な対策を今年も引き続き求められています。さて昨年はコミュニティバスが土浦駅・イオン・荒川沖駅のコースで走り出しました。利用者からの評判は上々です。

①高齢者施設等福祉施設の職員に対するPCR検査の定期的な実施など、新型コロナウイルス対策の一層の強化を求めます。

②常名運動公園建設用地の用途変更を行い、都市公園として整備することを求めます。
③コミュニティバスについては、運行地域の拡大を求めます。
④高齢者の運転免許証自主返納者に対するサポート事業を一層充実させることを求めます。
⑤市営住宅条例を改正し、保証人の項目を削除し、緊急連絡先とするを求めます。
⑥ジェンダー平等をめぐり施策を進めることを求めます。
⑦学校給食において、地産地消を推進することを求めます。
⑧幼児教育、保育における給食を無償とするよう求めます。
⑨事業系ごみの減量計画を早急に策定するよう求めます。
⑩水道特別会計の現金預金を活用し、水道料金の引き下げを行うことを求めます。

「主な活動方針」

市民の声を市政に届け市政に生かす取り組みが市会議員には求められています。より一層住みよい土浦市を目指して今年も力を尽くします。本年もどうぞよろしくお祈り致します。



市民ネット21

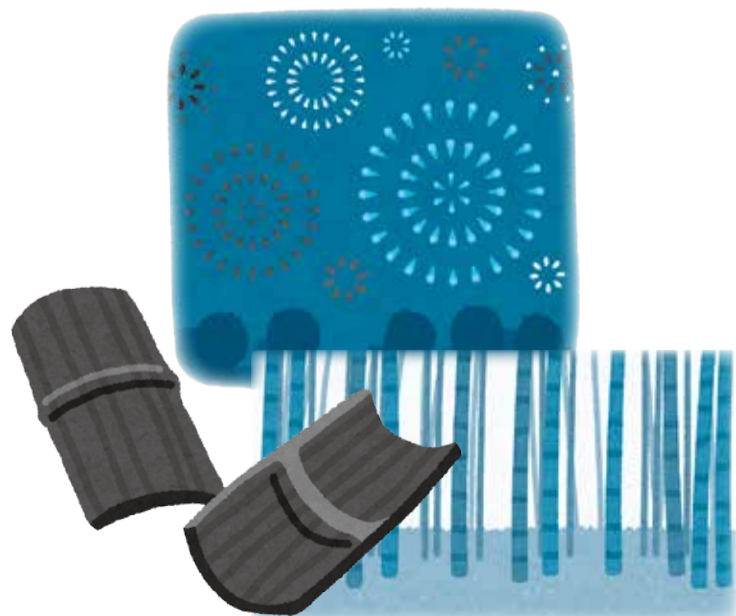
○柏村忠志⑥

「主な活動方針」

①土浦消防本部は、土浦市総務部防災危機管理課と合体し「消防庁」とする。消防庁責任者は、副市長が就任する。

②六塚地域の貝塚・古墳・般若寺の文化財を活かした「六塚貝塚自然公園」(仮称)を樹立する。土地の買収は基本的に「借地方式」で行う。

③竹林の「第六次産業化」を図り、仕事をつくる。竹のチップ・粉末所の事業で家畜の飼料、作物の成長・促進及竹炭・竹酢液の活用で医



薬・化粧品等の効用に活用するなど「産業化」を図り、若者などの仕事を創り出す。

④認知症患者の福祉・ケアを支援し、また、親族関係のケア従事者に対しても「事業者」とみなし、介護保険会計の黒字分として支給できるように条例化を図る。

⑤第二次拡張用地として不要となっている「県霞ヶ浦浄化センター」の土地の「譲渡」を県に要望する。この小高い丘は、眼下に広がる四季折々の野鳥観察の場所として、また、「近い将来」土浦全国花火競技大会を開催する場所として検討する。

⑥国際部を設置する。霞ヶ浦大の湖沼のある東南アジア地域の都市と「姉妹都市」を結ぶ。

⑦霞ヶ浦を本来の「汽水湖」にもどし、ニホンウナギ・ヤマトシジミを復活させるための環境を整備する。



市議会のしくみ

市議会は市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。

市議会議員と市長は、4年に1度、市民の皆さまから選挙によって選ばれ、市民の代表として市政の運営を任されています。

市長は選挙公約などで打ち出した政策を進めるため、また住み良いまちづくりを進めるために、予算や条例などの案を作り、市議会議員は市民の皆さまの代表として、その案を慎重に審議し、決定しています。

これは市議会の基本的な権限である議決権であり、予算や条例を決定する権限になることから、市長は議会の議決に従って仕事(市政)を進めていきます。このようなことから、市議会を「議決機関」、市長を「執行機関」と呼び、互いにけん制し協力し合いながら均衡を保ちつつ、同じ目的である市政の発展のために活動しています。



令和4年第1回定例会日程(予定)

(※最新情報は市議会ホームページ掲載)

日	曜	開議時間	
2/18	金		招集告示・議会運営委員会
19	土		
20	日		
21	月		代表質問・一般質問通告
22	火		代表質問・一般質問通告
23	水		
24	木		
25	金		請願・陳情受付締め切り
26	土		
27	日		
28	月		
3/1	火	午前10時	本会議(招集日)
2	水		休 会
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	午前10時	本会議(代表質問・一般質問)
8	火	午前10時	本会議(一般質問)
9	水	午前10時	本会議(一般質問・議案質疑) (終了後、予算決算委員会全体会)
10	木		休会(常任委員会)
11	金		
12	土		休 会
13	日		
14	月		休会(常任委員会)
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		
19	土		休 会
20	日		
21	月		
22	火		
23	水	午前10時	本会議(最終日)

議会報告会は動画配信により開催(配信準備中)

新型コロナウイルス感染症の対策を検討し、令和3年度議会報告会につきましては、動画の配信により実施することといたしました。準備が整い次第、市議会ホームページから視聴できるよう進めてまいりますので、ぜひ、ご視聴ください。ご意見お待ちしております。

2月末から3月上旬に配信開始予定です。

土浦市議会 議会報告会

インターネットで上記の字句で検索いただくか、右の二次元コードから市議会ホームページの議会報告会の項目をご覧ください。



令和2年度議会報告会の様子

委員 委員長 副委員長
 員 員 員 員 員 員 員 員 員 員
 奥谷 下村 平石 海老原 吉田 吉田 柏村 今野 勝田 達也
 壽郎 勝司 一郎 鶴子 博史 忠志 貴子

広報広聴委員会

(委員長 勝田 達也)

新型コロナウイルスのデルタ株感染者が減ったのもつかの間、オミクロン株が国内でも急速に広がっています。感染力(伝播性)が高いと考えられており市民の健康と生活を守るために感染を抑えることと、社会生活を維持することにスピード感のある対応が求められています。土浦市は国の施策をいち早く皆様にお届けするように様々な対応を実施しております。それに対応し市議会は予算の実行にあたり速やかに判断をしております。コロナ禍では市政がいかにして市民の不安に向き合うかという課題が出ました。コロナの終息を願い、誰一人取り残されないように、皆様に寄り添い声を市政に届けてまいります。一方このコロナ禍は通過点です。その後の市政運営についても同時に丁寧な力強く進めてまいります。

【編集後記】